

奥州市土地開発

条例の制定・一部改正(抜粋)

奥州市奨学金貸与条例の全部改正

市が貸与する奨学金に「入学準備金」を加えるなど、奨学金に関する制度を改めるため全部改正しようとするもの。

修学する意志がありながら、経済的理由により修学が困難な人及びその保護者に修学に必要な奨学金を無利子で貸与し、有用な人材を育成しようとするのであり、全会一致で原案可決しました。

質問 奨学金の貸与条件に、年齢制限はあるか。

答弁 この条例には、年齢制限は設けていないが、本市の住民として6カ月以上居住していることや連帯保証人が必要であることなどが条件となっている。

人権擁護委員候補者を推薦

平成25年3月31日をもって任期満了する人権擁護委員の新任者を全会一致で推薦しました。

熊谷峰夫氏(胆沢区)

固定資産評価審査委員を選任

平成24年9月14日に固定資産評価審査委員の辞任により、その補欠委員として全会一致で承認しました。

天野直樹氏(水沢区)

議案の審議

質問 幼稚園において、

今年度の途中から、用務員が不在となり、園舎内外の管理に苦慮している。来年度は配置する考えか。

答弁 現状は配置しているところとしていないところとある。今年度は各幼稚園を巡回する方を臨時雇用で配置した。来年度も同様に実施することを予定している。

質問 協働のまちづくり

交付金が追加補正されているが、実際に交付される時期はいつか。また地域の事業に支障はないか。

答弁 今までの動向を把握して計上してきたが、

今回、9月議会の後に大きな額の申請があった。今議会で承認が得られれば、すぐに交付したい。申請者の事業には支障をきたさないように進めていく。

質問 協働のまちづくり

交付金は定期的に切羽詰まった交付はなるべく避けるべきではないか。

答弁 申請者側の意向を伺いながら、説明を十分にし、措置をしていく。

質問 自立支援給付等事業

業経費の事業内容は何か。

答弁 当初予算より106%ほど、給付が増えている。例えば、生活介護について168人だったが、現在は288人に増えている。施設入所支援は、127人から177人に、就労支援は286人から350人になっている。

質問 自立支援給付事業

の利用者の方で、不都合は出ていないか。また、利用者の声を拾うシステム

年頭のごあいさつ



市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には、健康で輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復興を目指す年でありましたが、地震被害の復興は着実に進んでいるものの、福島第一原発の事故による放射能拡散事故は、市の様々な分野に大きな影響をもたらしております。

今後も多大な時間と労力が必要とされ、議会と致しましても、市当局と一体となり再建に最善の努力の必要性があるものと、強く思っているところであります。

震災後、東北の復興も放射能の除染も、遅々として進んでおりません。政治も経済も混迷を深めるばかりです。今こそ、脱皮した考えで新しい大地を求め、多くの市民と共に英知を結集しこの難局を乗り越えていくことこそが、奥州市の未来の発展に導いていくことだと思っております。

議会としましても本年は議員定数、議員報酬などについて方向性を決定する年であり、そして又、国際リニアコライダーの誘致など山積する当市の諸課題解決に向けて、議員一人ひとりが最善の努力を尽くす所存であります。

市民皆様の更なるご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、幸多き年でありますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

奥州市議会 議長 渡辺 忠